

第31回

# 全日本中国語スピーチコンテスト 東京大会

日本における中国語学習の普及と質の向上を目指し、日中両国国民の相互理解と友情に寄与することを目的に始まったスピーチコンテストは、今年で31回目。今大会もこれまでと同様、弁論の部の優勝者には東京都代表として、全国大会にご参加いただきます。全国大会入賞者には、中国招待旅行はじめ数々の賞が用意されています。国際交流の場では共通の言葉が話すが、最も有効なコミュニケーションの手段。あなたも日頃の学習の成果を試してみませんか？どうぞ奮ってご参加ください。傍聴のみのご来場も歓迎いたします！

**日 時：2013年10月6日（日）**

**会 場：万世橋区民会館（千代田区外神田1-1-11）**

**部 門：第一部 朗読の部〈課題文制〉**

A：独自選定課題  
B：全国大会予選

**第二部 弁論の部〈自作原稿〉**

**参加費：無 料**

**申込締切日：2013年9月20日（金）**

主催：NPO法人東京都日中友好協会

後援：千代田区

中国大使館、北京市人民对外友好協会、中国国際放送局東京支局

協賛：株式会社新橋亭・亜東書店・東方書店

お問合せ：tel:03-3295-8241 fax:03-3295-8255 e-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net

第一部 朗読の部	
	A：東京都日中友好協会 独自選定課題
	B：全国大会予選
日 時	10月6日(日) (午前)
会 場	万世橋区民会館6階
部門及び参加資格	<p>東京都内に在住または在勤・在学の方。</p> <p><b>【基礎部門】</b> <b>【応用部門】</b> <b>【アナウンス部門】</b></p> <p>三部門とも学習方法、学習時間、国籍は問いません。 <b>※三部門とも中国語を母語とする方はご遠慮下さい。</b></p> <p>※課題文の内容により、【基礎部門】 【応用部門】 【アナウンス部門】の三つの部門に分けています。東京都日中友好協会独自で選定した課題文であるため、<b>全国大会への推薦はありません。</b></p> <p>東京都内に在住または在勤・在学の方。または、東京近隣県で大会の開催がない地域の方</p> <p>①【中学生・高校生の部】 ②【大学生・大学院生の部】(専門学校生含む) ③【一般の部】(上記①②以外の者) <b>※但し、次の各項に該当する方は出場できません。</b> <b>※①②③部門の共通条項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本国籍を有しない者。</li> <li>中国語を母語とする者および中国語を母語として学んだ経験がある者。</li> <li>中国語を母語とする同居家族がいる者、またはいた者。</li> <li>中国語を母語として授業を行っている学校(中華学校など)に在学中の者、または卒業した者。</li> <li>中国語を日常的に業務上・生活上で使用したことのある者、または現在使用している者。</li> <li>中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在した経験のある者。</li> <li>高校、大学、専門学校において中国語を学科専攻している者(過去に専攻していた者も含む)の内で学習期間1年を超えている者。それ以外の者の内(第二外国語等で学習していた)で学習期間2年を超えている者。<b>ただし、60歳以上で初めて中国語学習を始めた者は学習期間を問わない。</b></li> </ol> <p><b>※【中学生・高校生の部】【大学生・大学院生の部】のみの出場不可共通条項</b> 日本の該当する学校(専門学校含む*注1)に在学していない者。 *注1 専門学校とは「専門士」の資格を与えられる学校を指す。</p>
審査基準	<p>基礎力および応用力・正確かつ流暢であるか</p> <p>発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。 <b>※全国大会の審査は全てテープ審査にて決定する。</b></p>
発表内容	<p><b>課題文制、制限時間は3分以内。</b> ※課題文はNPO法人東京都日中友好協会にご請求ください(tel、fax、e-mail可)。 (【基礎部門】の課題のみホームページからのダウンロードが可能です。)</p> <p><b>課題文制。</b> ※課題文はNPO法人東京都日中友好協会にご請求ください(tel、fax、e-mail可)。 またはホームページからダウンロードしていただいても結構です。</p>
原 稿	主催者の指定した課題文
応募規定	一人1部門のみ
応募方法	<p>・エントリー用紙を<b>9月20日(金)必着</b>でご送付ください。 ・大会当日の1週間前頃に当日のご案内をお送りいたします。 (<b>応募者多数の場合はテープ審査を行う場合があります</b>)</p>
表 彰	部門別に高得点者を表彰します。
	高得点者を表彰し、全国大会に推薦します。

第二部 弁論の部			
日 時	10月6日(日) (午後)		
会 場	万世橋区民会館6階		
部門及び参加資格	<p>東京都内に在住または在勤・在学の方。または、東京近隣県で大会の開催がない地域の方</p> <p><b>「大学生部門」「高校生・一般部門」で審査します。</b> <b>※但し、次の各項に該当する方は出場できません。</b> <b>【大学生部門】と【高校生・一般部門】の共通条項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本国籍を有しない者。</li> <li>中国語を母語とする者および中国語を母語(注1)として学んだ経験がある者。</li> <li>中国語を母語とする同居家族がいる者、またはいた者。</li> <li>中国語を母語として授業を行っている学校(中華学校など)に在学中の者、または卒業した者。</li> <li>業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者。</li> <li>過去、全国大会において優勝し中国旅行の招待を受けた者。</li> </ol> <p>*注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)</p> <p><b>【高校生・一般部門】のみの出場不可条項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1998年4月2日以降に生まれた者(すなわち中学生以下)。</li> <li>中国語を日常語とする地域に継続3ヶ月以上滞在したことのある者(短期留学含む)</li> <li>大学もしくは大学院に在学している者。</li> </ol> <p><b>【大学生部門】のみの出場不可条項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本の大学(含短大)、大学院、専門学校(*注1)、高専4年以上に在学していない者。</li> <li>中国語を日常語とする地域に継続3ヶ月以上滞在したことのある者(ただし留学は除く)</li> </ol> <p>*注1 専門学校とは、「専門士」の資格を与えられる学校を指す。</p>		
審査基準	<p><b>「大学生部門」「高校生・一般部門」共通(全国大会の審査基準に従っています)</b> ・各人のスピーチと審査員による質疑応答(1分前後)を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>中国語の運用が正確であるか。<b>※歌などのパフォーマンスは不可。</b></li> <li>発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。</li> <li>内容がテーマに沿っているか、スピーチとして構成と論旨が適切であるか。</li> <li>内容が理解されていて、質疑応答の際に説明できるか。</li> </ol>		
発表内容	<p><b>制限時間は5分(テーマは自由)</b></p> <p><b>参考までに</b>昨年全国大会で受賞者のテーマを下記に記載します。 大学生部門：ことばの魅力」「中国への深い思い出と中日のこれから」「相互理解」 高校生・一般部門：「母」「心と心の交流」「私の背中を押してくれた1冊のノート」</p>		
原 稿	<p>中文・日本語訳文とも提出(中文1,000字以内)。一度提出された原稿の訂正には応じかねます。</p> <table border="1"> <tr> <td> <p><b>中国語原稿作成の場合</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①用紙はA4原稿用紙を使用すること。</li> <li>②1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。</li> <li>③2行目に右詰で氏名を記入する。ただし、中国の漢字を使用する。</li> <li>④3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。</li> </ol> </td> <td> <p><b>日本語原稿作成の場合</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①用紙はA4原稿用紙を使用すること。</li> <li>②1行目に2文字空けて日本語題名を記入する。</li> <li>③2行目に右詰で氏名を記入する、ただし、日本の漢字を使用する。</li> <li>④3行目は1文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは1字空ける。</li> </ol> </td> </tr> </table>	<p><b>中国語原稿作成の場合</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①用紙はA4原稿用紙を使用すること。</li> <li>②1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。</li> <li>③2行目に右詰で氏名を記入する。ただし、中国の漢字を使用する。</li> <li>④3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。</li> </ol>	<p><b>日本語原稿作成の場合</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①用紙はA4原稿用紙を使用すること。</li> <li>②1行目に2文字空けて日本語題名を記入する。</li> <li>③2行目に右詰で氏名を記入する、ただし、日本の漢字を使用する。</li> <li>④3行目は1文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは1字空ける。</li> </ol>
<p><b>中国語原稿作成の場合</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①用紙はA4原稿用紙を使用すること。</li> <li>②1行目に2文字空けて中国語題名を記入する。</li> <li>③2行目に右詰で氏名を記入する。ただし、中国の漢字を使用する。</li> <li>④3行目は2文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは2字空ける。</li> </ol>	<p><b>日本語原稿作成の場合</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①用紙はA4原稿用紙を使用すること。</li> <li>②1行目に2文字空けて日本語題名を記入する。</li> <li>③2行目に右詰で氏名を記入する、ただし、日本の漢字を使用する。</li> <li>④3行目は1文字空けてから本文を書き出し、各段落の始めは1字空ける。</li> </ol>		
応募規定	一人1部門のみ		
応募方法	<p>・エントリー用紙を<b>9月20日(金)必着</b>でご送付ください。 ・大会当日の1週間前頃に当日のご案内をお送りいたします。 (<b>応募者多数の場合はテープ審査を行う場合があります</b>)</p>		
表 彰	<p>・東京都日本中国友好協会会長賞 1名 ・北京市人民対外友好協会会長賞 1名 ・優秀賞、特別賞 若干名 <b>※各部門の最優秀者を東京都代表として、全国大会に推薦します。</b> <b>★全国大会は2014年1月12日(日)</b></p>		